

年 頭 所 感



北海道知事 鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。

北海道医師会の皆様には、平素から道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

また、北海道知事として初めての新年を皆様と共に迎えることができ、大変うれしく思います。

大いなる挑戦を掲げ、勇気を持って果敢に前進を続けてきた私としては、本年を北海道にとって更なる発展と飛躍の年とするため、道政に全力を尽くしてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、元号が令和に改められ、天皇陛下が御即位されるという時代の大きな節目となる1年であり、本道においては、東京オリンピックにおけるマラソン、競歩競技の札幌開催が決定するなど、北の大空に大きな夢が広がる年であったと考えています。

一方で、台風による甚大な災害を目の当たりにして、多くの方が安全・安心の重要性を強く意識する中、胆振東部地震災害からの復旧・復興や国土強靱化に向けた取組を推進するとともに、高齢社会の到来を見据えた医療・介護従事者の確保など、将来にわたって安心して暮らし続けられる地域づくりに向け、各般の政策を展開してまいりました。

地域医療の確保においては、皆様に多大なご尽力をいただき、全国に先駆けて実用化した「メディカルウイング」が運航開始から3年目を迎え、北海道の「医療の翼」として着実に実績を積み重ねているところです。

また、北海道医師会や北海道病院協会、各医育大学のご協力のもと、「緊急臨時的医師派遣事業」や地域枠制度などを利用した医師の確保をはじめ、在宅医療の充実、健康寿命の延伸やがん患者への支援などについても取組んでおります。

医療や介護、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築について、市町村と連携して進めるとともに、介護人材の安定的な確保に向け、離職した介護福祉士等の再就職支援、介護ロボットの導入促進、そして障がいのある方々の多様な就労の創出などの取組を進めてまいりました。

本年においては、昨年を引き続き、「北海道医師

確保計画」、「北海道外来医療計画」の策定を進め、「地域医療構想」を踏まえた効率的な医療提供体制の構築と道全体の医師確保や地域における医師偏在の是正、地域に必要な外来医療機能の確保に一体的に取り組み、本道における医療提供体制の更なる充実・強化を図ってまいります。

道といたしましては、こうした取組を通じて、地域医療の第一線でご活躍されている北海道医師会の皆様との連携をさらに深めながら、保健・医療・福祉の推進に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

